

テトラ UV殺菌灯

60/120

観賞魚水槽用紫外線殺菌灯

(淡水・海水用)

取扱説明書・保証書

本書はテトラ UV殺菌灯 60と120の取扱説明書・保証書です。

誤った使用方法により、人・魚・家財道具等に重大な事故を引き起こす恐れがありますので、ご使用前にこの取扱説明書を必ず最後まで読み、十分にご理解いただいた上で正しくご使用ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

裏面の安全上のご注意を必ずお読みください。

保証書付

保証について

※修理を依頼される前に、まずP.8の「こんなときには…（故障かな?と思ったら）」をご覧ください。それでも不具合がある場合は、下記に基づき、販売店もしくは弊社インフォメーションセンターまでご相談ください。

テトラ UV殺菌灯 保証書

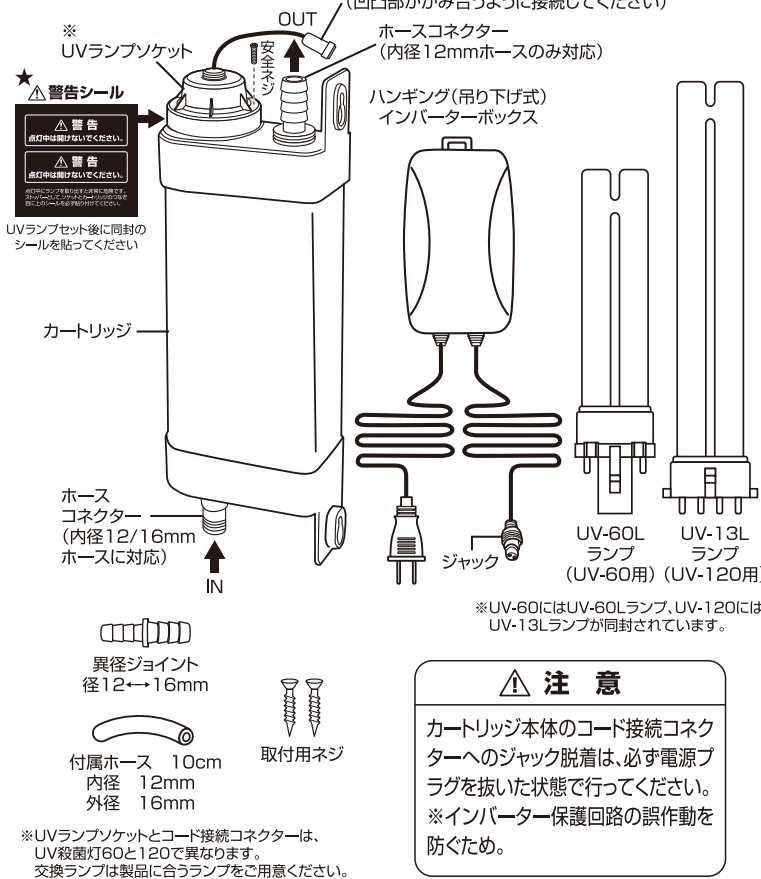
- お買い上げ日から、インバーターボックス部は12ヶ月間を保証期間とし、この期間内に取扱説明書、本製品注意ラベル等の注意書に従った正しい使用状態で、故障した場合には無料修理いたします。なお製品の傷やUVランプの切れは保証の対象になりません。（UVランプ、カートリッジ部は対象外です）
- 保証期間終了後および保証期間内であっても、下記の場合は保証はいたしません。
(イ) 本書のご提示がない場合。
(ロ) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。
※お買い上げ日、販売店名は購入店のレシートでも代用できます。
(ハ) 本書の字句を書き換えられた場合。
(ニ) 使用上の誤り・不注意・過失による故障・損傷。
(ホ) 不当な修理・改造および分解による故障・損傷。
(ヘ) 火災・地震・風水害・異常電圧・落雷・公害などその他天災地変による故障・損傷。
(ト) 指定以外の電源(電圧・周波数)による故障・損傷。
(チ) 家庭以外や屋外で使用了ことによる故障・損傷。
(リ) 観賞魚用以外で使用了ことによる故障・損傷。
(ヌ) 魚類など生体の死亡や病気および水草の枯れ。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店もしくは弊社インフォメーションセンターまでご相談ください。
- この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間	お買い上げ日 インバーターボックス部は12ヶ月間（UVランプ、カートリッジ部は対象外です）	年	月	日より
お客様のご住所・ご氏名 〒				
様 印 () -				
販売店の所在地・店名 〒				
印 () -				

使用方法

電源プラグは、すべてのセットが終了するまで、コンセントに差し込まないでください。

【各部の名称】



2

使用方法

3.UVランプのセット

UVランプのソケット部の安全ネジをプラスドライバーなどで外してから、カートリッジよりUVランプソケットを反時計回りに回転させ取り外し、UVランプのガラス部分を手で触れないように、ソケット部にカチッと音がするまで差し込みます。

4.UVランプ付ソケットをカートリッジにセット

UVランプをセットしたソケットをカートリッジにセットして、時計回りに回転しなくなるまで回してはめ込みます。ソケット部に安全ネジを取り付け、しっかりと締めてください。
必ず殺菌灯ユニット部の安全ネジ取付穴に安全ネジを取り付けネジを締めてから、ソケットとカートリッジのつなぎ目の上にストッパーとして「警告シール」を貼り付けてください。

5.作動方法

先に循環ポンプを作動させ、水を循環させます。循環する水でホース、フィルターや殺菌灯内部のエアーを完全に抜きます。カートリッジ内部に空気が残りますと、カートリッジ部分が紫外線により劣化するおそれがありますのでご注意ください。

次に、インバーターボックスとカートリッジ部を接続し、最後に差し込みプラグをコンセントに接続してください。このとき、吸水ホースコネクタ部(IN側)よりブルーの光が透けて見えていることを確認してください。

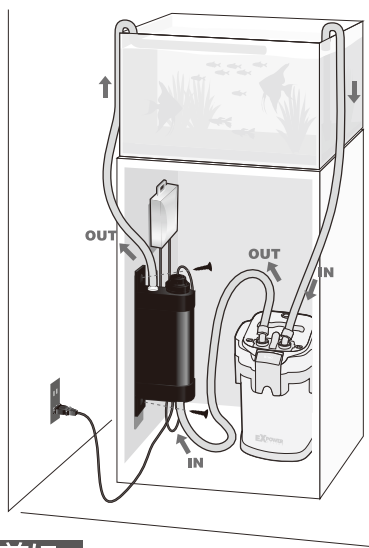
※UVランプの点灯有無は、吸水ホースコネクタ接続部付近やカートリッジ部がわずかに青、または緑色に光っているので分かります。(ホースコネクタを通してみる光は安全です。)

※テトラ UV殺菌灯の差し込みプラグをコンセントに差し込み、各部の接続を確認します。運転開始時及び運転開始30～60分後に水が循環しているか、水もれがないか必ず確認してください。

※殺菌灯は、24時間連続してご使用ください。ON/OFFを200回以上繰り返すと、ランプの寿命を著しく縮めます。

6

【VXパワーフィルター(外部式フィルター)接続例】



セットする前に

- 使用前、UVランプにびびや破損がないか、また本体を振り破損がないかご確認ください。カラカラ音等、異音がある場合、破損の恐れがあります。ご使用を中止し、ご購入店様へご相談ください。
- テトラ UV殺菌灯を使用するには、適した流量の循環ポンプが必要です。(外部式フィルター、パワーヘッド、水中ポンプ等)

型番	水槽水量	適した流量の目安
UV-60/UV-120	50ℓ～250ℓ	毎時120ℓ/h～ 400ℓ/hの循環ポンプ
UV-120	250ℓ～450ℓ	毎時400ℓ/h～1200ℓ/hの循環ポンプ

3

※魚病薬をご使用の際は、殺菌灯は使用(点灯)しないでください。薬の有効成分を失くしてしまふことがあります。

6.セットが完了しましたら、付属の使用開始日記入シールにセット日を記入し、カートリッジ等に貼ってください。

UVランプの交換

水槽、フィルターの掃除や、UVランプ、カートリッジ部を交換をする時は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、電源を切ってから作業してください。

1.UVランプの交換方法

- テトラ UV殺菌灯の差し込みプラグをコンセントから抜きます。
- その他のすべての器具の電源を切ったことを確認します。
- 電源を切ったことを再確認し(UVの直射光は大変危険です)ソケット部の安全ネジを緩めます。「警告シール」を剥がしてからソケットをOPENの方向(時計回り)に回してゆるめて取り外します。そして、新しいランプと交換します。(※UV殺菌灯60と120では、ランプソケットの形状が異なります。専用のUVランプを必ずご使用ください。)
- 新しいUVランプをセットしたソケットをカートリッジにセットして、時計回りに回転しなくなるまで回してはめ込み安全ネジを締めます。再び「警告シール」を貼り付け固定します。
- 先に循環ポンプを作動させ、カートリッジ内のエアーを抜いてから殺菌灯の差し込みプラグをコンセントに接続します。
- 吸水ホースコネクタ部(IN側)よりブルーの光が透けて見えていることを確認してください。

2.UVランプの寿命

連続点灯条件で約8000時間(約1年)です。しかし、ON/OFFを繰り返すほど寿命が短くなりますのでご注意ください。

3.カートリッジの交換

UVの影響を受けやすいカートリッジ等は1年に1回の交換をおすすめします。

UV-60交換パーツ		UV-120交換パーツ	
78467	テトラ UV-60 交換ランプ UV-60L	78456	テトラ UV-13W 交換ランプ UV-13L (UV-13W NEW 共用)
76528	テトラ UV-60 専用カートリッジ (ソケット、ランプ入)	76529	テトラ UV-120 専用カートリッジ (ソケット、ランプ入)

7

- 殺菌灯の紫外線は、目や皮膚に有害です。紫外線の光を直接見たり、皮膚に近づけないでください。誤って紫外線の光を直視してしまった時は直ちに眼科医の診察を受けてください。

警告

UV紫外線を直接見たり、皮膚にあててはいけません。

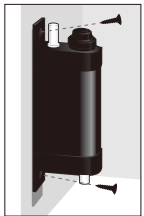
使用方法

1.設置する場所を決めます

本品は水中で使用することはできません。また、水中に落下するような所にはセットしないでください。イラストのようにキャビネットの内側や壁面などにネジ等を使用して、必ずOUT側が上にくるように縦置きに設置してください。横置きにセットしてのご利用の場合、カートリッジ内部に空気が残り、水の循環が止まるなどの問題が起こる可能性があります。

注意

内部にエアーがたまるとカートリッジの劣化を早めることがあります。必ずエアーのたまりにくい縦置きに設置してください。



2.吸水、排水ホースを取り付けます

カートリッジIN側には外部式フィルター等の排水ホース(内径12mm/16mm)を接続し、カートリッジOUT側に接続したホース(内径12mm)は水槽側にセットします。(カートリッジIN、OUT側は間違わないようご注意ください)

なお、止め具などを使って、必ずOUT側が上にくるように縦置きに、しっかりと固定することをおすすめします。

内径16mmのホースを使用する場合は、OUT側のコネクタに付属のホースを接続した後、異径ジョイントを接続してください。

※水槽の水は外部式フィルターなどろ過装置を通した後殺菌灯に通すことで、カートリッジ内部への汚れの付着を少なくすることができます。(吸水ホース側に殺菌灯をセットすると殺菌効率は低下します)

4

こんなときには…（故障かな?と思ったら）

- 次の点検をしてもなお不具合がある場合は、販売店もしくは弊社インフォメーションセンターまでご相談ください。

注意

UVランプ点灯有無は、P.4「セットする前に」をご理解した上でご確認ください。

症 状	●確認 ○処置
UVランプが点灯しない	●インバーター保護回路が働いてしまっている。 ○差し込みプラグをコンセントから抜いた後、約5分後に電源を入れると復帰します。 ●カートリッジ、インバーターボックスはきちんと接続がされていますか? ○カートリッジ、インバーターボックスを確実に接続してください。 ●UVランプが寿命ではありませんか? ○UVランプを交換してください。
UVランプが点滅する	●UVランプが寿命ではありませんか? ○UVランプを交換してください。
ホースコネクタとホースの接続部より水がもれる	●ホースコネクタにホースがしっかりと差し込まれていますか? ○ホースコネクタにホースを差し込みなおしてください。 市販のホースバンドのご使用をおすすめします。 ●ホースが古く固くなっていますか? ○新しいホースに交換してください。
カートリッジ本体が熱い	●目詰まりや、流量をしり過ぎた場合は熱くなりますのでご注意ください。
インバーターユニットが熱くなる	●ある程度 熱くなるのは異常ではありません。
UVランプの色が変わったように見える	●ホースコネクタの内部にコケが付着している。 ○外部に漏れる紫外線は、安全なレベルまで弱めています。そのため、コケが生えることがあります。異常ではありません。

8